

## 布沢層

今から1400万年前の第三紀中期中新世、現在の只見町は、浅海の中に島が点在する多島海の浅瀬であったと考えられています。今、この地域が陸地化する過程で形成された布沢層と呼ばれる堆積層を布沢川流域の各所に見ることができます。その層の厚さは150mから200mに及び、上層からは海洋性の貝、魚類の化石のほか、ブナ属やヤナギ属などの陸上植物化石が産出されています。布沢層の堆積層は、海底に沈殿した火山灰を材料として形成された凝灰岩と泥岩、頁岩が幾重にも重なったものです。中でも、布沢地区では布沢川の浸食作用により露呈した美しい地層を見ることができます。



### 特別展示

○只見の自然を食べる

期間：10月8日(土)～11月30日(水)

### 第13回ブナセンター講座

○只見の自然を食べる

講師：平出美穂子さん(郡山女子大学准教授)

日時：10月30日(日) 午後1時30分～午後3時

### 問い合わせ

○只見町ブナセンター TEL0241-72-8355

○只見町産業振興課交流推進班 TEL0241-82-5240

※この広報紙は再生紙を使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

## 豪雨災害による支援

多くの皆様から、義援金やお見舞いをいただいております。  
誠にありがとうございます。いただきました支援金については  
災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

義援金 6,283,711円 (130件)

見舞金 5,198,983円 (38件)

10月7日現在